

## 職業能力評価基準(ロジスティクス分野【倉庫業】)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安	対象者のイメージ
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全社の経営方針に基づいた部門の経営方針を策定、これをレベル3の責任者に伝達し、経営に対する成果の達成を目指す。</li> <li>・ クレーム等に対し、自己の責任を伴う説明責任を負う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かなりの経験と実績を有する部長相当。</li> <li>・ 複数人の監督者(レベル3)の長。</li> <li>・ 輸配送業務の長。</li> <li>・ 物流センター長など。</li> </ul>
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほとんどが複雑で非定常的な仕事(他部門との業務調整、問題解決等)を行う。最小マネジメント単位の責任者。</li> <li>・ 部門の経営方針に基づいた業務方針を策定、これをレベル2の責任者に伝達し、部門の経営方針に対する成果の達成を目指す。</li> <li>・ クレーム等に対する顧客への説明責任を負う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定以上の経験と実績を有する課長相当。</li> <li>・ ドライバーを統括する配車監督者。</li> <li>・ 物流センターの業務別・荷主別セクションの課長など。</li> </ul>
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複雑な作業または非定常的な仕事(他部門との業務調整、問題解決等)を行う。複数のグループリーダーの統括者。</li> <li>・ 業務方針に基づいた具体的な作業指示をレベル1のリーダーに対して行う。</li> <li>・ クレーム等に対する個人的責任は問われないが、問題・課題の抽出、また、実行に対する取組みが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相応の経験と実績を有する係長、主任相当。</li> <li>・ イレギュラーな判断を必要とする対応を行うドライバー。</li> <li>・ 事務処理や作業の監督者など。</li> </ul>
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほとんど定常的または予測可能な仕事を行う。臨時雇用者(パート・アルバイト)のリーダー。</li> <li>・ 上司からの作業指示に基づき、臨時雇用者と共に定常的な作業を行う。</li> <li>・ クレーム等に対する個人的責任は問われない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入社直後から入社後数年の経験を有する若手社員クラス。</li> <li>・ 指示のもとで定型ルートを回る社員ドライバー。</li> <li>・ 事務処理や倉庫内作業を行う臨時雇用者を管理するスタッフなど。</li> </ul>

### ロジスティクス分野【倉庫業】におけるキャリア形成の例

